



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第123号

2014.4.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

- 一 高原の自然館の開館日について
- 一 春の溪畔林植物観察会の日程変更について

活動報告

- 一 早春のトレッキング

観察会案内

- 一 カスミサンショウウオの産卵調査
- 一 サクラソウの観察会
- 一 大潰山の春植物観察会
- 一 ブナ林の野鳥観察会

お知らせ

●高原の自然館が開館します

高原の自然館の開館日が近づいてきました。今年も皆様のご来館をお待ちしております。

開館期間：4月25日～11月25日

開館時間：10:00～15:00

休館日：毎週火曜日

※火曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

●春の溪畔林植物観察会の日程が変更します

春の溪畔林植物観察会について、下記の通り日程を変更します。併せて、詳細についてご案内します。

開催日時：2014年4月25日（金）9:30

集合場所：聖湖キャンプ場

講師：斎藤隆登

準備物：基本セット、長ぐつ

定員数：30名

参加費：一般 = 300円 賛助会員 = 100円

正会員、中学生以下 = 無料

聖湖キャンプ場の河畔で、ヤナギを中心とした、水辺に生育する植物を観察します。タチヤナギ、サイゴクキツネヤナギ、ヤマヤナギなどの花を、ルーペを使ってじっくりと眺めてみましょう。また、講師の先生から、ヤナギの分類について解説いただきます。水辺での観察会となりますので、暖かい服装と長ぐつをご用意ください。

観 察 会 報 告

●早春のトレッキング

開催日時：2014年3月8日（土）10:00

講師：上野吉雄

3月とはいえ、まだまだ雪深い八幡高原で早春のトレッキングが開催されました。参加者は6名と少人数ですが、アットホームな雰囲気です。

凍みた雪の上に新雪が積もり、かんじきなしでも歩けるような雪の状態です。また足跡を見るには絶好の観察日和だと、講師の上野先生がお話され、トレッキングがスタートしました。

今回は千町原を歩くコースです。早々に、ウサギの足跡を見つけました。ウサギの糞やおしっこも見つけ、「ここがウサギの隠れているところ」という話を聞いていたら、「あっ！！ウサギ！！！」という参加者の方の声が響きました。茶色っぽい毛の大きいウサギがピョンピョン跳ねて逃げていきます。何とこの日は、二回もウサギの姿を見ることができ、とてモラッキーでした。

他にも、テン、キツネ、ハタネズミ、カラス、オシドリの足跡も見ることができ、先生が話されたようにアニマルトラッキングには絶好の日和でした。

ツグミの飛ぶ姿や、イスカの群れ、エナガやシジュウカラの姿、アカゲラのドラミングする音も聞くことができました。

雪上では、ユキクロカワゲラやトビムシ、クモの仲間など、小さな昆虫類も見ることができました。

雪がとけ地面が見えた湿地帯で、アケボノソウやマアザミの葉が出ており、春らしさを感じました。

3/10の時点で90センチを越す積雪の八幡高原ですが、確実に春が近づいてきていることを、目で見えて感じて嬉しくなった観察会でした。

（このやよい）



3月の観察会でもこの雪深さ。



雪上の小さな虫たちを、双眼鏡を反対からのぞいて観察した。



ウサギの痕跡のひとつ、糞を発見。



もうひとつ、ウサギの食痕を発見。この日はウサギも二回姿を現し、参加者を喜ばせてくれた。



水辺ではオシドリの足跡が。これはめずらしい！水かきの形もしっかり見えました。



春が近づくと「根開き」とよばれる現象が見られる。



葉のない木々の中で目立っているヤドリギを観察中。



湿原にも春の訪れ。マアザミやアケボノソウの新芽を確認した。

【みなさんの印象に残った物】

「なんといってもウサギを見たこと。オシドリの足跡」「ウサギを2回みたこと」「うさぎを見れたこと。雪の多さ」「動物の足跡も新鮮でしたが、ノウサギ2羽に会えた事が楽しかった」「ウサギが2度通った。めったにない」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「雪上で足跡たくさんみて、活動しているいきものが多いと実感した」「楽しかった。雪の上を歩いたのは初めてでした」「初めての雪山を楽しく過ごせました」「昔と変わらず足跡があった」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

●カスミサンショウウオの産卵調査

開催日時：2014年4月29日（火・祝）9:30

集合場所：高原の自然館

講師：内藤順一

準備：基本セット、長ぐつ

定員数：30名

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

自然再生事業が進められている霧ヶ谷湿原で、カスミサンショウウオの産卵状況を調査します。産卵場所や、卵塊の数を記録することで、湿原の回復状況の目安にできます。運が良ければ、卵塊を守る成体が見られるかも？湿原での調査となりますので、長ぐつをご用意ください。

●サクラソウの観察会

開催日時：2014年5月10日（土）9:30

集合場所：美和東文化センター

講師：暮町昌保、下杉孝、白川勝信

準備：基本セット

定員数：30名

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

北広島町美和地区では、サクラソウの保全活動を2000年から続けています。地域の方から保全活動についてのお話を聞き、サクラソウを観察します。自生地に咲く、個性豊かなサクラソウを観察できる貴重な機会です。

●大潰山の春植物観察会

開催日時：2014年5月17日（土）9:30

集合場所：大佐スキー場 レストハウス内

講師：暮町昌保・斎藤隆登・佐久間智子

準備：基本セット、お弁当

定員数：40名

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

ツツジで有名な大潰山を、ゆっくりと歩きながら植物を観察します。ツツジの仲間やスミレの仲間、オオカメノキなどの植物の他に、林内には炭焼き釜の跡や、頂上周辺の草原など、里山として活用された歴史が見られます。頂上でお昼にしますので、お弁当をご持参ください。

●ブナ林の野鳥観察会

開催日時：2014年5月18日（日）5:00

集合場所：雪霊水

講師：上野吉雄

準備：基本セット、あれば双眼鏡、フィールドスコープ

定員数：30名

参加費：一般=300円、賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

早朝のブナ林で野鳥を観察します。留鳥のヒガラやミソサザイ、夏鳥のコルリやオオルリ、クロツグミやキビタキなどのさえずりを聞いたたり、姿を観察します。アカショウビンの姿も観察できるかもしれません。早朝は冷え込みますので、暖かい服装でお越しください。

通勤の途中で、耕していたり水を張り終えた田んぼや、その周りを忙しく飛び回る野鳥の姿を見ると、春がきたことを実感します。高原の自然館の開館日まで後少し。開館に向けて、少しずつ準備を進めています。今年も多くの方が八幡高原を訪れていただけることを、楽しみにしています。（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info